

泉南市埋蔵文化財センター 年報

平成25年度

はじめに

当施設は、ふたつの機能を兼ね備えております。1階は埋蔵文化財センターとして、市内埋蔵文化財の発掘調査やそれに伴う出土品の整理・保管・研究を、行ってまいりました。2階は博物館的な施設として、隣接する国史跡海会寺跡出土の国指定重要文化財をはじめ、調査などによって得られた市内文化財の情報をひろく市民に還元する施設です。これまで、施設内での歴史講座や体験学習などのほか、学校教育機関へ出張講座などの普及啓発事業を行ってまいりました。

本書は、当施設の事業のうち、平成25年度に実施した普及啓発事業をまとめたものです。これまでのご理解とご協力に御礼申し上げますとともに、今後も市民の皆様のご要望にお応えできるよう、より充実した事業展開に努めてゆく所存であります。

泉南市教育委員会

1. 施設の概要	1
2. 組織・職員	2
3. 利用者数と利用形態	2
4. 展示	4
5. 体験学習	4
6. フィールドワーク	4
7. 文化財普及啓発ボランティア	4
8. 市内資源発見活用事業	6
9. 文化財活用促進（せんなんカンヴァス）事業	7
10. 附編	
埋蔵文化財センター条例・同施行規則	15
史跡海会寺跡広場条例・同施行規則	15・16

1. 施設の概要

略沿革

- 平成 6 年 7 月～平成 7 年 3 月 基本設計及び実施設計。
- 平成 7 年 3 月 浄化槽設置工事完成。
- 平成 7 年 6 月 海会寺跡出土遺物 302 点が国の重要文化財に指定される。
史跡海会寺跡整備事業完了。「史跡海会寺跡広場」として一般開放開始。
- 平成 8 年 3 月 埋蔵文化財センター竣工。
1 階埋蔵文化財センター部門供用開始。
- 平成 9 年 4 月 埋蔵文化財センター条例、同施行規則施行。
展示施設一般開放開始。
- 平成 10 年 7 月 重要文化財海会寺跡出土遺物を常設展示とする特別展示室オープン。

施設

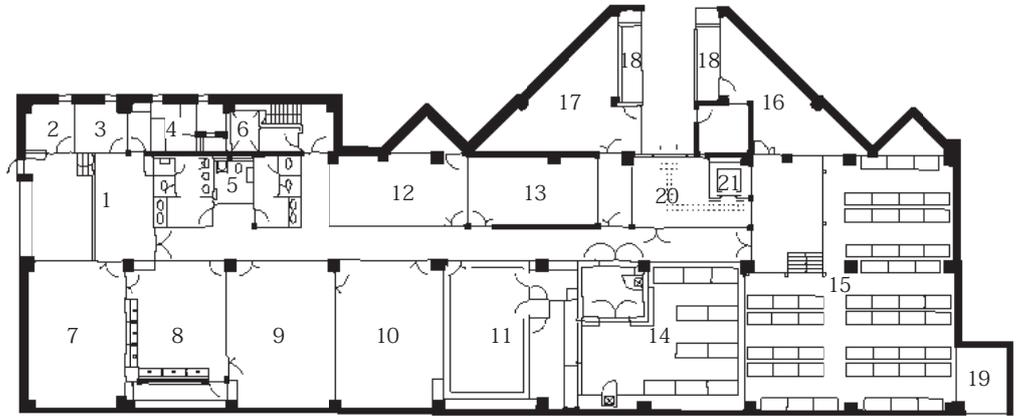
鉄筋コンクリート造地上 2 階耐火構造

敷地面積	4602.24 m ²
建築面積	1164.82 m ²
延床面積	1893.86 m ²
1 階	990.89 m ²
2 階	902.97 m ²
総室数	1 階 27 部屋 2 階 16 部屋

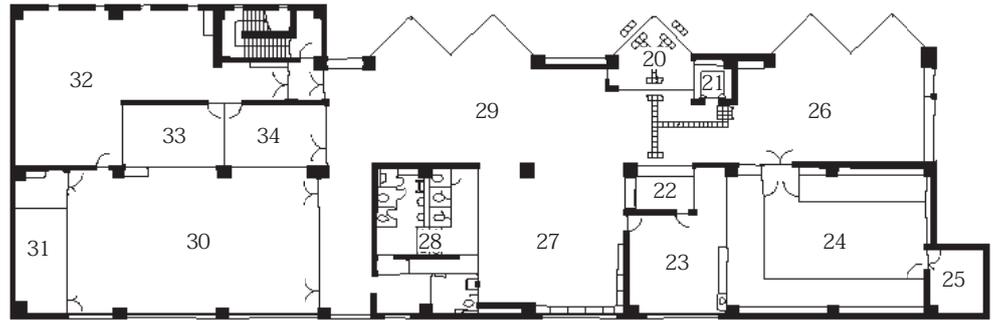
泉南市埋蔵文化財センター事業費 (平成 7 年度完成分まで)

設計委託	11,433,000 円
設計事管理委託	8,446,000 円
浄化槽設置工事	43,260,000 円
建築工事	762,200,000 円
植栽工事	6,180,000 円
上水道施設負担金等	958,000 円
用地購入	532,018,944 円

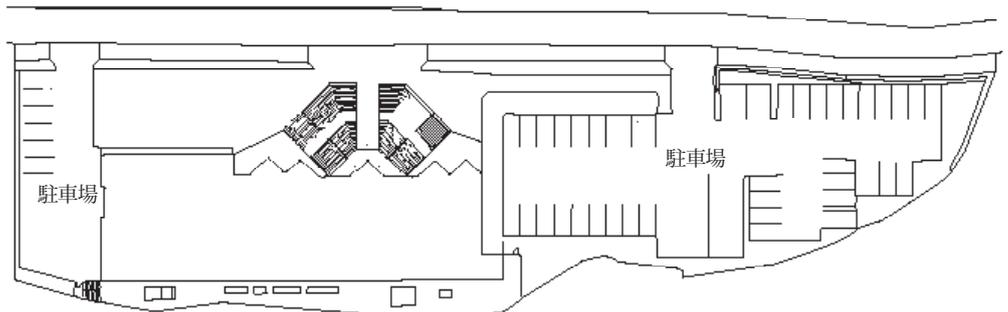
- 1 荷解場
- 2 警備員室
- 3 女子更衣室
- 4 休憩室
- 5 トイレ
- 6 ポンプ室
- 7 仮収蔵庫
- 8 洗浄室
- 9 遺物整理室
- 10 記録整理室
- 11 写場・暗室・乾燥室
- 12 図面収蔵庫
- 13 写真収蔵庫
- 14 特別収蔵庫
- 15 収蔵庫 1
- 16 収蔵庫 2
- 17 収蔵庫 3
- 18 展示ケース
- 19 CO₂ボンベ室
- 20 風除室
- 21 エレベーター
- 22 受付
- 23 事務室
- 24 特別展示室
- 25 展示準備室
- 26 展示ホール
- 27 図書情報コーナー
- 28 トイレ
- 29 サロン
- 30 講堂兼視聴覚室
- 31 倉庫
- 32 調査研究室
- 33 図書保管室
- 34 会議室



1階 平面図



2階 平面図



2. 組織・職員

教育長 蔵野博司

教育部 部長 上ノ山正人

次長 小林 宏

生涯学習課 課長 梶本秀之

文化財保護係 係長 岡 一彦（本庁勤務）

主査 城野博文（埋蔵文化財センター勤務）

主査 河田泰之（埋蔵文化財センター勤務）

施設外への出張事業（依頼・共催）-2

6月19日	市立青少年センター (子ども元気広場青少年センター：プラ板)	6
6月20日	市立鳴滝小学校 (子ども元気広場なるたき：プラ板)	14
7月6日	泉南歴史研究会 (市内歴史に関する講座の講師依頼)	20
7月7日	岸和田市立きしわだ自然資料館 (依頼講座：プラ板)	20
7月12日	市立東小学校 (6年：土器焼き)	10
7月13日	市立鳴滝小学校 (子ども元気広場なるたき：組みひも)	20
7月16日	市立砂川小学校 (6年：縄文クッキー)	84
7月24日	市立青少年センター (子ども元気広場青少年センター：まが玉ネックレス)	5
7月31日	市立青少年センター (子ども元気広場しんげ：まが玉ネックレス)	4
8月1日	樽井公民館 (出前まいぶんクラブ：組みひもづくり)	27
8月2日	信達公民館 (出前まいぶんクラブ：組みひもづくり)	18
8月8日	西信達公民館 (出前まいぶんクラブ：組みひもづくり)	8
8月9日	新家公民館 (出前まいぶんクラブ：組みひもづくり)	13
8月22日	樽井公民館 (出前まいぶんクラブ：まが玉づくり)	16
8月23日	信達公民館 (出前まいぶんクラブ：まが玉づくり)	25
8月29日	西信達公民館 (出前まいぶんクラブ：まが玉づくり)	24
8月30日	新家公民館 (出前まいぶんクラブ：まが玉づくり)	18
9月5日	文化庁文化財部 (事例報告：第3回ミュージアムエデュケーター研修)	52
9月18日	市立青少年センター (子ども元気広場しんげ：割りばし鉄砲)	13
9月25日	市立青少年センター (子ども元気広場青少年センター：割りばし鉄砲)	4
9月26日	市立鳴滝小学校 (子ども元気広場なるたき：割りばし鉄砲)	26
10月3日	市立あおぞら幼稚園 (保護者対象の人権研修：まが玉づくり)	40
10月15日	市立鳴滝小学校 (子ども元気広場なるたき：まが玉づくり)	8
10月20日	岸和田市立きしわだ自然資料館 (依頼講座：プラ板)	20
10月23日	市立青少年センター (子ども元気広場青少年センター：手裏剣づくり)	6
10月30日	市立青少年センター (子ども元気広場しんげ：こすってアート)	13
11月2日	泉南歴史研究会 (市内歴史に関する講座の講師依頼)	20
11月20日	市立青少年センター (子ども元気広場青少年センター：こすってアート)	12
11月21日	市立鳴滝小学校 (子ども元気広場なるたき：割りばし鉄砲)	8
11月27日	市立青少年センター (子ども元気広場しんげ：組みひも)	5
12月12日	市立鳴滝小学校 (子ども元気広場なるたき：こすってアート)	11
12月18日	市立青少年センター (子ども元気広場青少年センター：組みひも)	10

3. 利用者数と利用形態

月別入館者数

月	開館 日数	大人		子ども		計
		男	女	男	女	
4月	23	158	147	38	22	365
5月	23	105	105	81	55	346
6月	0	6/1 から 7/31 まで				0
7月	0	空調工事のため休館				0
8月	24	271	224	116	111	722
9月	21	116	39	20	16	191
10月	24	81	64	103	83	331
11月	22	125	114	84	64	387
12月	20	140	107	25	34	306
1月	21	125	81	22	20	248
2月	21	123	96	29	38	286
3月	23	242	257	214	222	935
計	222	1486	1234	732	665	4117

施設外への出張事業（依頼・共催）-1

月日	施設名（依頼内容）	人数
4月23日	市立新家東小学校 (6年：砂川奇勝と砂川遊園についての出張授業)	39
4月30日	市立砂川小学校 (6年：縄文土器づくり)	84
5月2日	阪南市立上荘小学校 (まが玉づくり：6年生の社会科)	56
5月14日	市立一丘小学校 (6年：ハニワづくり)	64
5月22日	市立青少年センター (子ども元気広場：組みひも)	6
5月23日	市立鳴滝小学校 (子ども元気広場：組みひも)	10
5月27日	市立東小学校 (6年：土器づくり)	10
5月29日	市立青少年センター (子ども元気しんげ：組みひも)	5
5月31日	市立砂川小学校 (6年：土器焼き)	84
6月10日	市立一丘小学校 (6年：土器焼き)	64
6月19日	市立青少年センター (子ども元気広場しんげ：プラ板アクセサリ)	6

施設外へ出張事業（依頼・共催）-3

12月25日	学童 (新家ちびっこ：組みひも)	20
12月25日	市立青少年センター (子ども元気広場しんげ：組みひも)	10
1月7日	学童 (新家ちびっこ：組みひも)	20
1月10日	市立信達小学校(民具など16件・市内資源発見活用事業登録物件：3年生への社会の教材として活用)	150
1月14日	市立西信達小学校(民具など16件市内資源発見活用事業登録物件：3年生への社会の教材として活用)	73
1月21日	市立雄信小学校(民具など16件市内資源発見活用事業登録物件：3年生への社会の教材として活用)	44
1月22日	市立青少年センター(子ども元気広場しんげ：たたきゴマ・市内資源発見活用事業登録物件)	7
1月29日	市立青少年センター(子ども元気広場青少年センター：たたきゴマ・市内資源発見活用事業登録物件)	8
1月30日	市立雄信小学校(3年生の社会科での出張授業：民具をもちいたクイズ・市内資源発見活用事業登録物件)	44
1月30日	市立鳴滝小学校(子ども元気広場なるたき：たたきゴマ・市内資源発見活用事業登録物件)	16
2月1日	府立弥生文化博物館 (講師依頼：企画展関連講座)	70
2月19日	市立青少年センター(子ども元気広場しんげ：かしてっぼう・市内資源発見活用事業登録物件)	10
2月20日	市立鳴滝小学校(子ども元気広場なるたき：かしてっぼう・市内資源発見活用事業登録物件)	14
2月26日	市立青少年センター(子ども元気広場青少年センター：かしてっぼう・市内資源発見活用事業登録物件)	8
3月28日	府立弥生文化博物館(「弥生フェスタ」での講座依頼：組みひも・ストロー管玉)	272
合計		1774人

おもな団体見学

月日	団体名(内容)	人数
5月9日	市立一丘小学校6年生(施設見学・まが玉づくり)	64
8月1日	堀病院(デイセンター・民具をつかったお話し会の実施)	25
8月2日	堀病院(デイセンター・民具をつかったお話し会の実施)	20
8月22日	教育課程研究会(施設見学・普及啓発プログラムの内容説明)	80
10月7日	鳴滝小学校1年生(遠足：紙芝居ほか)	32
10月7日	新家東小学校(1・2年生の秋の遠足：見学と紙芝居)	71
1月28日	堺市ボランティアガイド(館内、史跡公園説明)	23
3月19日	根来街道グリーンツーリズム協会(館内、史跡公園説明)	20
合計		335人

視察

月日	機関名	人数	備考
1月23日	茅ヶ崎市教育委員会	1	史跡整備および普及啓発事業など

資料貸出など

依頼元	内容	点数
貝塚市教育委員会	【資料複写】平成19年度文化財総合調査業務委託調査成果の複写：貝塚市史編集資料として保管する為	1冊
泉南市地域包括支援センター六尾の郷	民具などのパネル借用(回想法のツールとして使用・市内資源発見活用事業登録物件)	63件
個人	オリジナル紙芝居の貸出し(市立東小学校での紙芝居上演のため)	2冊
市立東小学校	銅鑼、銅鏡、銅剣の複製品(6年生の社会科の教材として使用)	3点
市立砂川小学校	砂川奇勝の写真パネル借用(3年生101名への地域学習用教材に利用・市内資源発見活用事業登録物件)	1件
市立図書館	民具など借用(行事開催にかかる展示として使用するため・市内資源発見活用事業登録物件)	10件
大阪府南部農業共済組合	【写真掲載】『かみよし』大阪府南部農業共済組合広報紙Vol.26での施設紹介	2点
市立新家東小学校	戦時中の資料借用(6年生211名の授業で使用、反戦コーナーに展示・市内資源発見活用事業登録物件)	22件
泉大津市教育委員会	【写真掲載】写真(海会寺跡全景、相輪模型、軒丸瓦写真、センム：講演会広報媒体への写真掲載)	4枚
個人	【資料編纂】刻印レンガの調査・市内資源発見活用事業登録物件	5件
個人	【資料編纂】岡中遺跡・林昌寺瓦窯出土資料：市内ボランティアガイドにかかる知識獲得のため	一括
個人	【資料複写】引き札のデータ提供(参考資料とするため・市内資源発見活用事業登録物件)	1件
泉南市地域包括支援センター六尾の郷	民具などのパネル、実物資料の借用(市認知症コーディネーター研修・市内資源発見活用事業登録物件)	63件
貝塚市立西小学校	【資料貸出】糸車1点(1年生への国語の教材として活用・165名・市内資源発見活用事業登録物件)	1件
個人	【資料編纂】からさお：大阪府下におけるからさおの調査研究のため・市内資源発見活用事業登録物件	2件
びあ株式会社	【写真掲載】写真(外観、相輪模型、展示室内ガイドブックへの掲載)	3枚
市立信達中学校	戦時中の市内の写真(3年生239名の社会科の授業で使用・市内資源発見活用事業登録物件)	15件
いきいきネット相談支援センターせんわ	民具の貸出(ふれあいサロン：8か所125名での話題作りのため・市内資源発見活用事業登録物件)	6件
新家東区いずみ台分区自主防災会	樽井煉瓦製造所製レンガの収集(防災かまどベンチに使用するため・市内資源発見活用事業登録物件)	1件
鳴滝小学校	【資料貸出】行事開催にかかる貸し出し(たたきゴマ・かしてっぼう・市内資源発見活用事業登録物件)	2件
合計		208
【内訳】市内資源発見活用事業登録物件：192件、文化財の調査成果資料：16		

その他依頼

月日	団体名	内容	人数
7月26日	指導課	市内小中学校初任者研修(体験学習の実施)	30
8月13日	保育子育て支援課	いちおか広場でのむかし遊びの実施(紙ひこうき)	10
8月27日	保育子育て支援課	いちおか広場でのむかし遊びの実施(紙ひこうき)	15
1月14日	保育子育て支援課	いちおか広場でのむかし遊びの実施(たこ作り)	15
1月28日	保育子育て支援課	いちおか広場でのむかし遊びの実施(たこ作り)	15
2月25日	保育子育て支援課	いちおか広場でのむかし遊びの実施(組みひもづくり)	15

4. 展示

常設展示

「海会寺跡」

内容 隣接する国史跡海会寺跡からの出土品のうち、国重要文化財指定物件を中心に展示。海会寺跡の歴史的価値をわかりやすく紹介。

企画展示

「魅力ある泉南の景観パネル展 - 熊野街道沿い」

期間 3月11日～4月27日

内容 市内所在の魅力ある景観の存在と、保護の必要性を周知することが目的。応募のあった魅力ある景観の情報を共有することで住民主体の自律的な景観保全の仕組み作りにつながると思込まれる。

「思い出のせんなん写真展」

期間 4月13日～6月28日

内容 泉南市内で撮影された写真を持ち主の思い出を添えて紹介するほか、当時の暮らしの道具なども展示。あわせて市民などから写真を募集した結果、6件の応募があった。

「むかしあそび展」

期間 8月1日～8月30日

内容 むかしのおもちゃを館内に設置。利用者が自由に遊べるようにした。併せて指導役としてボランティアを募った。

「泉南の個性豊かなレトロなレンガ展」

期間 10月15日～12月27日

内容 全国屈指の生産地であった岸和田市、貝塚市、泉南地域の工場で生産された、刻印のあるレンガを展示。あわせて、祠や家屋の扉など「レンガが見え隠れする景観」の魅力を紹介した。

「泉南引き札展」

期間 平成26年1月7日～3月31日

内容 泉南市内及び泉佐野市内の商店の引き札を41点展示。あわせて市民に類似資料の募集を呼び掛けた。

5. 体験学習

「まいぶんクラブ」

内容 身近な昔の暮らし体験を通じて、歴史文化への興味関心を持つきっかけを提供することが目的。ボランティア4名に協力を得た。

① まが玉づくり 5/11 (土) 参加者12人

古代人の気持ちになって自分のまが玉をデザイン。

② 土器づくり 5/25 (土) 参加者18人

縄文土器を見て、文様やデザインの意味を考えながら土器づくり。

③ 人形づくり 8/6 (火) 参加者1人

軍手人形づくり。衣装は、昔の人がどんな暮らしをしていたかを考えながら製作。

④ 割り箸鉄砲作り 8/13 (火) 参加者6人

むかし遊び体験。割りばしをつかったゴム鉄砲づくり。各自作ったあとに、まと当て大会を実施。

⑤ まいぶん宝探し 8/20 (火) 参加者15人

埋蔵文化財センターのバックヤードツアーを、宝探しゲームにして実施。

⑥ ちょきん埴輪 8/27 (火) 参加者29人

夏休みの宿題+考古学のプログラム。形象埴輪を観察後に、意味を考えながら埴輪兼ちょきん箱を製作。

⑦ プラ板キーホルダーづくり 10/26 (土) 参加者11人

出土遺物の形や文様をプラ板に書き写して好きな色を塗った後に、焼き縮める。

⑧ こすってアート 11/9 (土) 参加者6人

色鉛筆で出土遺物の乾拓をとり、組み合わせてアートな？作品に仕上げる。

⑨ ツタの壁飾りづくり 12/14 (土) 参加者24人

史跡海会寺跡広場にある雑木林で材料をあつめて壁飾り。

⑩ カレンダー作り 12/26 (木) 参加者35人

史跡海会寺跡広場にある雑木林で材料を集めてカレンダーづくり。

⑪ 組みひもづくり 1/25 (土) 参加者15人

飛鳥時代の組みひもの作り方でミサガづくり。

⑫ カマドベンチづくり 2/9 (日) 参加者32人

泉南市内で作られたレンガを使ったかまどベンチづくり。文化財活用促進(せんなんカンヴァス推進)事業とだき合わせ。



まいぶんクラブ「土器づくり」のようす



まいぶんクラブ「こすってアート？」の作品



まいぶんクラブ「かまどベンチづくり」のようす

6. フィールドワーク

今年度のテーマは、「古道を訪ねる - 竹内街道 -」。大阪と奈良とを結ぶ古道「竹内街道」にスポットをあて、この古道を訪ね、周囲の文化財などを見学することによって、古道の歴史的価値を参加者と考えることとした。（総登録者数 42 名・ボランティア 2 名）

第 1 回説明会 4/3 (水)

第 2 回 現地見学① 4/24 (水) 「太子町」

参加者 32 名 (ボランティア 1 名) 歩行距離約 10km
 近鉄上ノ太子駅～妙見寺～竹内街道歴史資料館～科長神社～小野妹子墓～二子塚古墳～推古天皇陵～葉室古墳群～敏達天皇陵～用明天皇陵～松井塚古墳の石槨～聖徳太子墓～叡福寺

第 3 回 現地見学② 5/22 (水) 「堺市・河内松原市」

参加者 33 名 (ボランティア 2 名) 歩行距離約 11km
 南海堺駅～与謝野晶子生家跡～開口神社～堺市役所展望ロビー～長曾根神社～金岡神社～大泉緑地～近鉄岡バス停<バス移動>近鉄河内松原駅



歴史倶楽部 現地見学のようす

第 4 回 現地見学③ 6/5 (水) 「河内松原市～羽曳野市」

参加者 38 名 (ボランティア 2 名) 歩行距離約 9km
 近鉄河内松原駅～柴籬神社～埴生坂伝承地～野中寺～仁賢天皇陵～小口山古墳～峯ヶ塚古墳～古市大溝跡～翠鳥園遺跡公園～白鳥陵古墳～近鉄古市駅

第 5 回 現地見学④ 7/3 (水) 「羽曳野市～太子町」

参加者 34 名 (ボランティア 1 名) 歩行距離約 6km
 近鉄古市駅～白鳥神社～葦の辻～西琳寺～金刀比羅神社～川向の道標～石川河川公園～杜本神社～月読橋～駒ヶ谷の道標～飛鳥戸神社～観音塚古墳～近鉄上ノ太子駅

第 6 回 講座 8/7 (水) 「古道を訪ねる - 竹内街道 -」

参加者 35 名 (ボランティア 2 名)

第 7 回 現地見学⑤ 9/4 (水) 「太子町～葛城市」

参加者 27 名 (ボランティア 1 名) 歩行距離約 7km
 近鉄上ノ太子駅<バス移動>六枚橋バス停～井関の道標～道の駅 (近つ飛鳥の里・太子)～万葉の森～岩屋口～鹿谷寺跡～竹内峠～綿弓塚～長尾神社～近鉄磐城駅

第 8 回 現地見学⑥ 10/2 (水) 「香芝市～葛城市」

参加者 35 名 (ボランティア 2 名) 歩行距離約 8km
 近鉄二上駅～大坂山口神社～加守廃寺～石光寺～高雄寺～傘堂～鳥谷口古墳～中将姫墓塔～當麻寺～近鉄当麻寺駅

第 9 回 現地見学⑦ 11/6 (水) 「葛城市～橿原市」

参加者 34 名 (ボランティア 1 名) 歩行距離約 12km
 近鉄磐城駅～長谷本寺～石園坐多久虫玉神社～高田寺内町 (専立寺)～常光寺～高田城跡～曙公園～曲川環濠集落 (徳応寺・金橋神社・八幡神社)～曾我遺跡～大日堂～入鹿神社～近鉄大和八木駅

第 10 回 現地見学⑧ 12/4 (水) 「橿原市～明日香村」

参加者 35 名 (ボランティア 1 名) 歩行距離約 11km
 近鉄大和八木駅～札の辻～耳成山 (耳成山神社)～醍醐環濠集落～藤原宮大極殿跡～朱雀大路跡～古宮遺跡～雷丘～雷丘東方遺跡～甘樫丘～<バス移動>近鉄橿原神宮前駅

第 11 回 講座 12/18 (水) まとめ

参加者 30 名 (ボランティア 1 名)

7. 文化財普及啓発ボランティア

活動への参加を通じて文化財保護の必要性を認識してもらうことが目的。ボランティア活動の場と参加体験型学習への参画機会を提供することで、施設の新規利用者の獲得も見込まれる。

ご協力いただいた事業とその内容

対象事業	内容	協力者数
フィールドワーク	現地見学時の引率	2 人
歴史倶楽部	説明補助	
まいぶんクラブほか 参加体験型学習	プログラムの企画・実施	4 人
文化財活用促進事業 (わがまちカンヴァス事業)	ワークショップへの参加 イベントの企画実施	60 人 約 140 人

8. 市内資源発見活用（せんなんのたからもの）事業

泉南市に関連する文化遺産（広義の文化財＝せんなんのたからもの）の価値を最大化させることが目的である。住民と行政が、文化遺産の活用を通して文化財保護の必要性を共有することを目標とする。住民に地域への誇りを持つきっかけを提供することで、地域の活性化が見込まれる。現在3つの段階にわけて事業をすすめ、各段階ごとに目標を設定している。

段階1 文化財の認識をひろめる

「せんなんのたからもの」を公募する。「せんなんのたからもの」とは、時代や価値などの基準は設けず、①泉南市に関するもので、②所有する人が大切だと思ひ、③活用したいとつよく思うものとする。登録物件は持ち主の所有とする。

- 目標
- ・住民に「せんなんのたからもの（広義の文化財）とは何か？」を考えるきっかけを提供する。
 - ・「せんなんのたからもの」を公開する方法や活用方法について、所有者や利用者の要望を把握する。

段階2 情報を共有する

応募のあった「せんなんのたからもの」を随時閲覧可能な状態で公開することで、ひろく活用をうながす。公開する手段は、前段階で把握した所有者や利用者の要望を反映する。

- 目標
- ・利用者による主体的な活用をうながし、地域の宝としての認知をひろめる。
 - ・利用者の意見をもとに、具体的な活用形態を把握する。

段階3 利用者が活用しやすい環境をつくる

前段階で把握した具体的な活用形態を実現するために、エコミュージアム化など「せんなんのたからもの」を利用者が主体となり活用できる環境づくりをおこなう。

- 目標
- ・活用をきっかけとした人間関係の構築をうながし、維持発展させる。
 - ・泉南市らしい仕組み作りを行う。

【登録物件の活用について】

教育・生涯学習・地域活動の素材として、グループや個人が利用することをいい、活用方法は持ち主の承諾さえ得られれば特に制限はない。

行政による登録物件の公開

形態	名称など	内容	公開の方法など	その他公開方法	回数	件数
印刷物	広報せんなん	毎月掲載。登録物件を個別に紹介	全戸配布	泉南市ウェブサイト	12	12
展示	思い出のせんなん写真展	古い写真168件以上を、持ち主の思い出を添えて展示。	会期：4/13/6/28 会場：埋蔵文化財センター	-	1	168
展示	むかしあそび展	昔の遊びを動態展示。叩きゴマを設置。	会期：8/1-8/31 会場：埋蔵文化財センター	-	1	1
展示	泉南の個性豊かなレトロなレンガ展	登録物件のうち市内レンガ生産にかかる資料を展示。	期間：10/13-12/27 会場：埋蔵文化財センター	-	1	12
事業	わがまちカンヴァス事業（文化財活用促進事業）	登録物件のうち市内レンガ生産にかかる資料を活用。3/15のイベントでは、たたきゴマ・どんぐり鉄砲を体験できる機会を提供した。	会場：埋蔵文化財センター ワークショップ6回（11/21、12/12、1/6、1/23、2/3、2/9）。イベント1回（3/15）	-	7	14
展示	泉南引札展	引札2件を展示。	会期：1/7-3/31 会場：埋蔵文化財センター	-	1	2
23回 209件の登録物件を公開した						

利用者による主体的な登録物件の活用

月日	種別	活用の主体	活用方法	件数
4月23日	学校教育・小学校	市立新家東小学校 6年	砂川奇勝と砂川遊園についての出張授業	1
5月8日	事業者・高齢者	泉南市地域包括支援センター六尾の郷	民具などのパネル借用（回想法）	63
5月29日	学校教育・小学校	市立砂川小学校	砂川奇勝の写真パネル借用（3年生101名への地域学習用教材として利用）	1
6月1日	庁内・生涯学習	市立図書館	民具など借用（展示資料として、行事開催にかかる展示として使用するため）	10
6月3日	学校教育・小学校	市立新家東小学校	戦時中の資料借用（6年生の授業で使用、反戦コーナーに展示）	22
8月19日	個人・市外	個人	【資料観察】刻印レンガの調査	5
12月26日	個人・市内	個人	【資料複写】引き札のデータ提供（市場の歴史を残す会での参考資料とするため）	1
1月8日	事業者・高齢者	泉南市地域包括支援センター六尾の郷	民具などのパネルおよび実物資料の借用（泉南市認知症コーディネーター研修：回想法）	68
1月8日	学校教育・小学校	貝塚市立西小学校	【資料貸出】糸車（1年生への国語の教材として活用）	1
1月10日	学校教育・小学校	市立信達小学校	民具など（3年生への社会の教材として活用）	16
1月14日	学校教育・小学校	市立西信達小学校	民具など（3年生への社会の教材として活用）	16
1月14日	研究・博物館	個人	【資料観察】からさお大阪府下におけるからさおの調査研究のため	2
1月21日	学校教育・小学校	市立雄信小学校	民具など（3年生への社会の教材として活用）	16
1月22日	庁内・生涯学習	市立青少年センター	子ども元気広場しんげ（たたきゴマ）	1
1月29日	庁内・生涯学習	市立青少年センター	子ども元気広場青少年センター（たたきゴマ）	1
1月30日	学校教育・小学校	市立雄信小学校	3年生の社会科での出張授業（民具をもちいたクイズ）	16
1月30日	学校教育・小学校	市立鳴滝小学校	子ども元気広場なるたき（たたきゴマ）	1
1月30日	学校教育・中学校	市立信達中学校	戦時中の市内の写真（3年生の社会科の授業で使用）	15
2月6日	事業者・高齢者	いきいきネット相談支援センターせんわ	民具の実物資料の貸出：ふれあいサロン（8か所）での話題作りのため	6
2月10日	個人・市内	新家東区いずみ台分区分自主防災会	樽井煉瓦製造所製レンガの収集（防災かまどベンチに使用するため）	1
2月19日	庁内・生涯学習	市立青少年センター	子ども元気広場しんげ（かしてっぼう）	1
2月20日	学校教育・小学校	市立鳴滝小学校	子ども元気広場なるたき（かしてっぼう）	1
2月26日	庁内・生涯学習	市立青少年センター	子ども元気広場青少年センター（かしてっぼう）	1
3月1日	学校教育・小学校	鳴滝小学校	【資料貸出】行事開催にかかる貸し出し（たたきゴマ・かしてっぼう）	2
3月15日	報道・新聞	産経新聞社	わがまちカンヴァス事業の記事掲載	1
4月1日	報道・ミニコミ	「ふぁみせん」（陸風社）	わがまちカンヴァス事業の記事掲載	1
26回 270件の登録物件が活用された				

9. 文化財活用促進（せんなんカンヴァス推進）事業

■はじめに

本事業は、泉南市教育委員会生涯学習課（以下、泉南市）が、大阪府府民文化部都市魅力創造局文化課（以下、大阪府）・大阪府立江之子島文化芸術創造センター（以下、enoco）の支援¹⁾を受け企画・実施した。

事業の実施にあたり、ご協力いただいた住民の方々をはじめ、伊藤煉瓦製造所、三和煉瓦製造所、樽井煉瓦製造所、泉南の里山を大切にす会、泉南案内人の会、大苗代地車保存会、Decaのとんぼ玉工房 Glisten、泉南太鼓塾、アコーディオンサークルぼちぼち、いずみバンド、旧庄屋敷山田家住宅、（公社）大阪府猟友会信達支部、泉南市立一丘中学校吹奏楽部、泉南市立信達中学校ギターマンドリン部、泉南市立図書館、子育て支援センターひだまり、大阪府立近つ飛鳥博物館、きしわだ自然資料館、国枝よしみさん（大阪成蹊短期大学）、社会福祉法人いずみ野福祉会、enoco プラットフォームサポーターには多大なるご支援、ご協力をいただきました（敬称略・順不同）。深く感謝いたします。

■事業のねらいと概要

この事業は、泉南らしい文化財保護の仕組みづくりを目的とする。住民などと文化財の新たな活用を、継続的に実施することで、「シビックプライド²⁾」の醸成をめざす。事業の実施にあたり、プレーヤー増と、オープンな参画を志向する。埋文が地域のプラットフォームづくりの役割を担う。初年度は、大正時代から昭和初期にかけて全国屈指の生産高を誇った泉南地域のレンガ生産に関連する文化財を主題とした。

平成 25 年 10 月から平成 26 年 3 月にかけて、泉南市埋蔵文化財センター（以下、埋文）および史跡海会寺跡広場（以下、広場）を会場に、展示、ワークショップ、イベントなどの事業を実施した。オープンな住民参画を志向し、ワークショップ、かまどベンチづくりのほか、建材と



市内で見られる「レンガの見え隠れする景観」

して使うレンガの提供や、企画展示の内容提供など、多様な住民にかかわってもらえる機会を設けた。

■大阪府・enoco の支援決定までの経緯

泉南市では、文化財保護施策の一環として、文化財の多面的な活用方法の創造に取り組んできた。住民の主体的な意思による文化財の活用を促すことで、自律的な文化財保護の仕組みづくりにつなげるためだ。取り組みをすすめるうえで重要なのが、より多面的な活用方法の提示にある。より多面的な活用方法を創造することができれば、文化財を活用する住民をふやすことができると考えられるためだ。

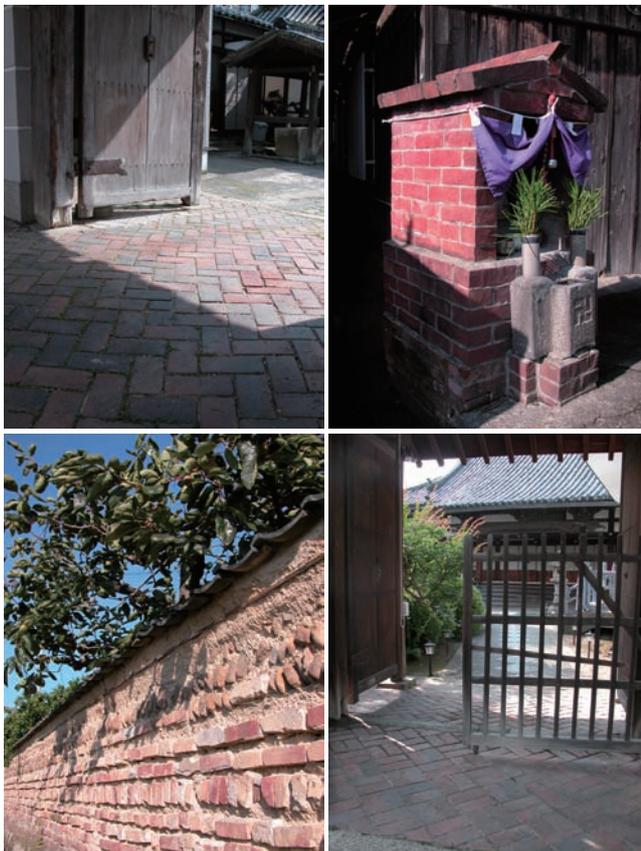
この取り組みの課題が、アイデア不足。学校教育や生涯学習のほか、福祉や観光などの分野での活用方法の検討および実践に取り組んできたが、それ以外のあらたな活用方法が見出せずにいた。

そんななか、大阪府から「わがまち（*選定された市町村名）カンヴァス推進事業」の意向確認があった。内部で検討の結果、意向ありとの内容で回答した。アートやデザインの視点で、文化財の多面的な活用を創造することができると思込まれたためだ。

■大阪府・enoco からの支援内容

大阪府と enoco の支援があったからこそ立案・実施できた事業といえる。事業の企画・実施にあたり、大阪府と enoco からフィードバックを受けることができたからだ。

具体的な支援内容は、事業内容の企画にあたっての打合せ（合計 8 回）と、ワークショップの実施。打合せは、事業の企画段階からおこなった。泉南市が作成した草案をもとに、5 回の打合せをへて事業内容を確定した。その後は、ワークショップの進め方についての打ち合わせと、イベント内容や実施方法などの助言などを受けることができた。かまどベンチづくりワークショップは、事前の企画や当日の進行など、全面的な支援を受けたほか、完成記念イベントのプログラム作成に際しては、enoco プラットフォームサポーターとデザイナーの支援を得ることができた。



市内で見られる「レンガの見え隠れする風景」

支援決定までの経過

- 5/30 「わがまちカンヴァス事業」事業の意向確認（大阪府）
- 6/14 意向ありと回答（泉南市）
- 6/19 大阪府のヒアリング（場所：埋文）
- 7/11 泉南市を支援対象として決定（大阪府）

大阪府・enocoからの支援

住民・団体へのアプローチ



- 7/25 打合せ①(場所：enoco)
- 8/2 住民との打合せ（事業参画の意向確認）
- 8/6 打合せ②(場所：enoco)
- 8/9 住民との打合せ（かまどベンチの具体案について話し合い）
- 8/23 打合せ③(場所：enoco)
- 9/1 団体との打合せ（事業参画の意向確認）
- 9/11 打合せ④(場所：enoco)
- 9/18 団体との打合せ（事業参画の意向確認）

■9/19 事業内容確定

かまどベンチに用いるレンガ調達

レンガに関連する企画展示



- 9/27 住民との打合せ（事業内容の説明）
- 10/8 かまど用レンガの引取り（提供者3名）
- 10/11 報道発表：企画展「泉南のレトロなレンガ展」の開催
- 10/15 企画展「泉南のレトロなレンガ展」開催
- 10/25 事業趣旨の説明（泉南市商工会）
- 10/31 報道発表：「かまどベンチづくりワークショップ」の参加者募集
- 11/8 打合せ⑤(場所：埋文)
- 11/14 事業趣旨の説明（泉南市観光協会ワーキングチーム）
- 11/20 事業趣旨の説明（泉南市自主防災組織協議会）

大阪府・enocoの支援によるワークショップ



■11/21 第1回ワークショップ（場所：埋文・20名）

- 12/4 かまど用レンガの引取り（提供者1名）

■12/12 第2回ワークショップ（場所：埋文・18名）

- 12/17 打合せ⑥(場所：enoco)
- 12/25 かまど用レンガの個数確認（提供者1名）
- 12/26 かまどベンチ当初案完成
- 1/9 プログラム検討会（場所：埋文・13名）
- 12/27 企画展示終了

泉南市で自主開催のワークショップ

■1/23 第3回ワークショップ（場所：埋文・19名）

- 2/3 スープ検討会（場所：埋文・5名）



- 1/15 打合せ⑦(場所：enoco)
- 2/4 かまど用レンガの引取り（提供者1名）

■2/9 かまどベンチ作りワークショップ（場所：埋文・37名）

- 2/9 プログラム検討会（場所：埋文・19名）



- 2/28 報道発表：「春だ！祭りだ！全員集合!!」の開催
- 3/7 完成記念イベント打合せ（場所：埋文・10名）
- 3/14 スープ作り（場所：埋文・2名）

■3/15 完成記念イベント「春だ！祭りだ！全員集合!!」



*泉南市で行った、個別の団体や住民との打合せについては、そのすべてを記載していない。

事業の経過

■住民・団体へのアプローチ

多様な住民にかかわってもらうため、事業の企画段階から住民や団体へ事業内容の説明や意見交換、事業参画の呼びかけをおこなった。住民参画の事業はこれまでも実施してきたが、今回のような規模の大きいものは初めての試みであったためである。結果、本事業に約140名の方々に関わって頂くことができた。

■かまどベンチに用いるレンガの調達

今回製作したかまどベンチのレンガは、すべて泉南市内でかつてつくられたものを使用した。事前に市広報などで募集した結果、4名から700個ほどのレンガを確保できた。提供していただいたレンガは、自宅のレンガ塀を取り壊したあとに大事に残しておいたものや、家にあった「へつついさん」に使われていたものなど、思い入れがあり今まで処分せずに保管していたものばかりだった。

■レンガに関連する企画展示

泉南はレンガのまちだったことを紹介する展示会を開催した。内容はおおきく3つ。まず、泉南地域が昭和初期まで全国屈指のレンガ生産地だったことを統計資料で紹介し、当時の「個性豊かな」デザインのレンガを展示。加えて、泉南地域独特の景観として「レンガの見え隠れする景観」を写真パネルで紹介することで、泉南らしさのひとつとして認識してもらうためだ。開催期間中の来場者は、約1,000人。

■大阪府・enocoの支援によるワークショップ

かまどベンチのデザインと、完成記念イベントの企画を行うためのワークショップを実施した。ワークショップの企画および進行はenocoの支援を得た。



大阪府・enocoの支援によるワークショップ



2/9のワークショップの様子

まずは見て来て!

「泉南の個性豊かなレトロなレンガ展」

昭和初期まで、泉南地域は全国有数のレンガ生産地でした。個性豊かな当時のレンガのほか、その周辺に今も残る「レンガが見え隠れする景観」をご紹介します。

【とき】10月15日(土)～12月27日(日)

午前9時30分～4時30分、土日招は休館
(土曜日(お盆日あり)【入館料】無料)

【ところ】埋蔵文化財センター
*下記の土曜日は閉館しています
10/26・11/9・11/16・12/14

埋蔵文化財センターでは、「泉南らしさ(文化遺産)」を、皆さんと一緒に楽しく使いこなす取り組みを始めます。初回のテーマは「泉南のレトロなレンガ」。レンガをテーマにしたイベントなどを予定しています。

みんなで集める!

「泉南市内で作られたレンガ」を募集

泉南市内で作られたレンガは、全国的に見ても個性的!皆さんがお持ちのレンガを使って埋蔵文化財センターの広場にかまどベンチを作ります。

【こんなレンガです】レンガに刻印があります。「タルイ」「TARU」「STR」など。

【応募方法】まずお電話です。

【応募条件】持ち主の方からの応募に限ります。

【問合せ】埋蔵文化財センター

みんなで作る!

「レトロなレンガでかまどベンチ作り」参加者募集

レンガを使った建築作業の体験。泉南市内で作られた個性豊かなレンガをつかって、職人さんと一緒に「かまどベンチ」をつくります。

【とき】平成26年1月を予定
(決まり次第お知らせします)

【ところ】埋蔵文化財センター
【定員】6歳以上の子どもを含むグループ
10組程度(多数抽選)
【問合せ】埋蔵文化財センター

みんなで作る!

「レトロなレンガでかまどベンチ作り」参加者募集

レンガを使った建築作業の体験。泉南市内で作られた個性豊かなレンガをつかって、職人さんと一緒に「かまどベンチ」をつくります。

【とき】平成26年1月を予定
(決まり次第お知らせします)

【ところ】埋蔵文化財センター
【定員】6歳以上の子どもを含むグループ
10組程度(多数抽選)
【問合せ】埋蔵文化財センター

みんなで作る!

「文化財の活用から始める地域の魅力づくり」参加者募集

皆さんが思う「泉南らしさ(文化遺産)」を、話し合いをとおして、楽しみながら使いこなす取り組みです。あなたのアイデアをカタチにしませんか。

【内容と日程・全3回のワークショップ】
テーマは泉南のレンガを使った「かまどベンチ」のデザインと、使いこなすためのイベント企画です。

ワークショップ1「アイデアの発掘」
平成25年11月21日(木) 19:00～21:00
ワークショップ2「みんなで、できること」
平成25年12月12日(木) 19:00～21:00
ワークショップ3「各々ができること」
平成26年1月23日(木) 19:00～21:00

【進行役】滝本庄太郎さん(enocoディレクター)
【場所】埋蔵文化財センター
【定員】30名程度
【対象】3回のワークショップと、イベント実施に参加・協力していただける方(交通費など自己負担となります)。
【申込み】メールがファックスで、氏名・住所・連絡先を明記の上、埋蔵文化財センターまで

住民向けの事業の説明資料(企画展示のチラシ)

9



完成記念イベント「春だ！祭だ！全員集合！！」のようす

■泉南市で自主開催のワークショップ

当初予定していたワークショップに参加できなかった方、また「宿題」となった内容については、必要に応じて追加でワークショップを開催した。

1/9 プログラム打ち合わせ

完成記念イベントで実施するプログラムの絞り込みを行った。第2回ワークショップに参加できなかった住民の方々も交えて、具体的な内容について話し合った。

2/3 スープ検討会

完成記念イベントで提供するスープのレシピを、実際に試食しながら決定した。4名が作った試作品を試食し検討の結果、玉ねぎ、にんじん、キャベツなどの春野菜をコンソメベースで煮込んだ「泉南ポトフ」に決定した。

2/9 プログラム検討会

完成記念イベントで実施するプログラムのうち、広場を会場に実施するもの内容についての打合せ。これまでワークショップに参加できなかった住民の方々を交えて、プログラムの内容を検討した。

3/7 完成記念イベント検討会

完成記念イベントの全体の進行などを確認した。完成記念イベント当日の全体の流れと、各ゾーンの責任者同士の顔合わせ、会場で注意すべきことなどの情報を共有した。

3/13 スープ作り

完成記念イベントで提供するスープの調理手順について話し合ったのち、具材 200 人分を加工した。

■完成記念イベント「春だ！祭だ！全員集合！！」

日時：3/15 10:00 から 15:00

埋文と広場を会場に、27のプログラムを実施した。大切にしたのは「色んな世代、いろんな人が楽しい」で、メインターゲットは「親子連れ」。会場を5つのゾーンに分け、古代衣装、演奏、料理、チリメンモ

ンスター、ネイチャークラフトなどメインターゲットを意識したプログラムを用意した。

事前のイベント告知、当日配布するプログラムは、兼用とした。全体のデザインはデザイナーに依頼。表紙のイラストは、2/9のかまどベンチづくりワークショップの参加者が描いたイラストを使用したほか、かまどベンチのイラストとタイトルおよび文章は enoco プラットフォームサポーターに協力を得ることができた。

注

1) 大阪府と enoco から「わがまちカンヴァス推進事業」として支援を受けた。この事業は「おおさかカンヴァス推進事業で蓄積したノウハウを元に市町村の取り組みを支援し、連携して実施する」もので、「府が技術的な支援を行うことで、アートやデザインを活用した、市町村域の公共空間活用の推進、地域の活性化、魅力発信等につなげていくことをねらい」とする。

2) 伊藤香織＋紫牟田伸子監修 2008『シビックプライド - 都市のコミュニケーションをデザインする』

事業概要

- 本事業に参画した住民 約 140 名
- かまどベンチに用いるレンガの提供者 4 名 (約 700 個)
- レンガに関連する企画展示の来場者 約 1,000 名
- 大阪府・enoco の支援によるワークショップの参加者 55 名 (のべ 116 名)
内訳：11/21 (20 名)、12/12 (18 名)、1/23 (19 名)
2/9 (プログラム検討会 19 名・かまどづくり 32 名・かまど班 8 名)
- 泉南市で自主開催のワークショップの参加者 29 名 (のべ 49 名)
内訳：1/9 (13 名)、2/3 (5 名)、2/9 (19 名)、3/7 (10 名)、3/14 (2 名)
- 完成記念イベント「春だ！祭だ！全員集合！！」の参加者 約 600 人 (内訳：来場者約 460 人・スタッフ約 140 人)
- 本事業の紹介
JCOM「ホームタウン」(平成 25 年 12 月 9 日～12 月 15 日)
産経新聞朝刊：大阪府下版 (平成 26 年 3 月 15 日)
『ふあみせん』No.147 4 月号 (平成 26 年 4 月 1 日)

01

泉南のレトロなレンガで作るかまどベンチ

第1回目ワークショップ アイデアの抽出

日時：平成25年11月21日（木）

19：00～21：00

場所：泉南市埋蔵文化財センター

参加人数：20名



こんなことがしてみたい！-アイデア発表の様子

■スケジュール

- 19：00 主催者あいさつ（泉南市より）
- 19：05 事業の趣旨
- 19：10 アイスブレイク「他己紹介」
- 19：30 今日の目標の説明など
- 19：40 ①「泉南の良いところ」を話し合う
- 20：00 ②「かまどベンチの使い方」を話し合う
- 20：20 ③ふたつのアイデアをミックスする
- 20：50 ④グループごとにアイデアを発表
- 21：05 まとめ・紹介カードの説明
- 21：10 終了

■この日のながれ 主催者のあいさつと「他己紹介」の後、参加者が4つの班に分かれてグループワークを行いました。まずは、各人が思う「①泉南の良いところ（資産・資源）」を、次に各グループで100個を目標に「②かまどベンチの使い方」について実現してみたいアイデアを、フェセン紙に書き込みました。最後は、グループごとに出た「泉南の良いところ」と「かまどベンチの使い方」をミックス。参加者は時間に追われながらも、自由な発想で25通りの「かまどベンチの使いこなしアイデア」を生み出しました。

■せんなんカンヴァース「文化財の活用からはじめる地域の魅力づくり」とは

「泉南市の資産（すてきな人々・歴史や文化・自然など）」と、「住民や団体などのニーズやアイデアなど」をつなぐことで、「地域の魅力・にぎわいづくり」に取り組みます。まいぶん（埋蔵文化財センター）を舞台に、だれでも参加できる「オープンな参画」を志向する活動を継続することで、シビックプライド（そのまちが好きなままららない、そのまちのためにステキなことをしたい気持ち）の醸成をめざします。

■今回のテーマ「レトロなレンガ」と、泉南の深いかわりにについて

泉南は全国一のレンガ生産地でした 明治時代から昭和初期にかけて、泉南地域は全国屈指のレンガ生産地でした。大正9年には、全国で作られたレンガのうち、6個に1個が泉南地域で作られていたほどです。泉南市内にも、4つのレンガ工場があったことが分かっています。全国一のレンガ生産地として、泉南地域は日本の近代化を支えたといっても、過言ではありません。

個性的なデザインへのレンガ 当時のレンガには、各工場独自の刻印が押されています。特に樽井煉瓦製造所（泉南市）の刻印は、板群のデザイン。今の製品には見られない個性が感じられます。

「レンガの見え隠れする景観」 泉南地域にあった8か所の工場周辺の住宅地を丹念に見ると、軒や画、民家の天落ち溝や、民家の壁などちょっぴりとしたところにレンガが使われています。全国屈指のレンガ生産地だったからこそみられる「泉南らしい」景観のひとつといえます。

■各班ごとのアイデア（各班のアイデアは埋蔵文化財センターにて展示中）



- 1班のアイデア
 - ・「タコなどの海の名産品」+「国産醤油」
 - ・「水ナスやタママネギ」+「ピザ」
 - ・「空が広く気持ちいい」+「将棋などのゲーム」
 - ・「人のつながりが深い」+「談笑できるベンチ」
 - ・「ヒメボタル」+「足湯」
 - ・「歴史めぐり」+「舞台になる」

*他に「フキが美味」、「音あつた砂川遊園」などの良いところと、「花壇」、「凸凹ベンチ」、「木陰を作ったベンチ」、「焼き菓子パーティー」、「レンガの迷路」、「木陰をつくってベンチ」、「ウェディングアーチを作り愛のポーズにする」、「レンガを敷きつめる」、「ドーム型カマド（タンドール？）のベンチ」などのアイデアが出ました。

■2班のアイデア

- ・「まつり」+「工作用の窯」
- ・「マーブルビーチの夕陽」+「冷水ベンチ」
- ・「わくわく広場」+「足湯」
- ・「水なすやガツウチ」+「足湯」
- ・「まちなかの花（藤・ツツジ）」+「積み木ベンチ」
- ・「シヨッピングモール」+「街灯」
- ・「ローズガーデン」+「国産醤油ベンチ」

*他に「男里川の干潟」「ホタル」「藤祭り」などの良いところと、「ハットがいざいベンチ」、「卓球台」、「楽器として遊べる」、「花壇になる」、「自由に形を変えられるベンチ」、「ペット散歩の休憩に使えるあつたかべベンチ」、「階段ベンチ」などのアイデアが出ました。



■3班のアイデア

- ・泉南の食材を調理できる、めが床付きベンチ
- ・菓子の眼のように、夜になると光るソーラーベンチ
- ・バラやツツジを植える、花ベンチ
- ・みんなで作る大きな造作ベンチ

*他に「人がおほか、川沿いの桜並木」、「信濃本陣」、「熊野街道の家並み」、「海会寺跡」、「砂川高勝」、「山田家住宅」などの良いところと、「曙ころんだら冷たく気持ちいいベンチ」、「赤ちょうちんベンチ」、「竹酒が飲める」、「地酒の熟甕が飲める」、「たき火ができ」、「親子の目線が合う親子ベンチ」、「階段式ベンチ」、「犬のリードが付けられるベンチ」、「作る楽しみを味わえるベンチ」などのアイデアが出ました。

■4班のアイデア

- ・漁港と浜ばたを組み合わせた鮮魚BBQベンチ
- ・泉南の食材を使った郷土料理講習会ベンチ
- ・泉南市出身歌手を呼べるような、舞台なベンチ
- ・恋人同士専用の二人掛け用ベンチ
- ・カップルの手形が入ったメモリアルベンチ
- ・大きな鍋で海鮮鍋をつくるベンチ
- ・タコ足型アートなベンチ
- ・タコ料理をつくる（専用？）ベンチ

*他に「ため池が多い」などの良いところと、「座ると羽根がはえるベンチ」、「燻製ができるベンチ」、「市民マラソンのゴールにする」、「取巻祭」、「テートなベンチ」、「天体観測（月見）ができるベンチ」などのアイデアが出ました。

■次回のワークショップのご案内

テーマ「実行するアイデアを選ぶ（仮）」
 各班のアイデアをもとに、ベンチのデザインと、イベントを決定。
 日時：平成25年12月12日（木）午後7時～午後9時
 場所：泉南市埋蔵文化財センター
 問合せ：泉南市埋蔵文化財センター（担当：城野・河田）
 TEL:072-483-6789・メールアドレス：maibun@city.sennan.lg.jp

ワークショップに
 参加してみたい方、
 大歓迎です！

せんなんカンヴァースについての
 問合せ、ご意見はこちらまで

せんなんカンヴァス「文化財の活用からはじめる地域の魅力づくり」ニュースレター

泉南のレトロなレンガで作るかまどベンチ

第2回 ワークショップ

02 カマドとプログラムを考える



日時：平成25年12月12日(木)
午後7時～午後9時
場所：泉南市埋蔵文化財センター
参加人数：18名



- スケジュール
- 19:00 挨拶
- 19:05 ふりかえり
- 19:10 チームの役割説明と、参加者のチーム選択
- 19:15 カマド、プログラムの条件説明
- 19:25 ワークショップ
- 「かまど班」のテーマ
- 「プログラム班」のテーマ
- かまどのデザインとレイアウト
- プログラムの絞り込みとレイアウト
- 20:50 発表
- 21:15 終了

■この日の流れ 前回の振り返りのあと、参加者各自の意欲で、「かまど班」と「プログラム班」にわかれてワークショップを進めました。予定では、ワークショップは二部構成で、かまど班は①ベンチのデザインとレイアウトを考えたのち、②提供すべき食材と連携できそうな人・団体の抽出を、プログラム班は①プログラムの絞り込みとレイアウトを考えたのち、②おもてなし方法と連携できそうな人の抽出を行う予定でしたが…議論が白熱(あらがとうございます)。各班ともに、②の課題は次回待ち感となりました。

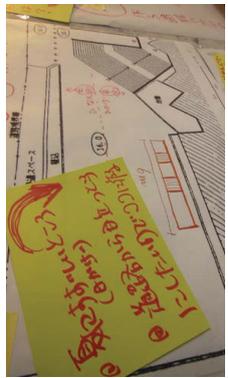
■かまど班での話し合い

「気軽に子どもも集える癒しのベンチ」がコンセプト！
まず大切にしたいのは、このベンチにいつも人がいること。これを実現するための各自のアイデアを出し合いました。結果「子どもでも」「気軽に」集えて、「いやしの場」と同時に、「品格」や「耐久性」、「災害時に炊き出しの場」として使えるような、頼りがいのあるベンチにすることにまりました。

機能は、座って+寝そべって+向いあって+机+かまど
コンセプトを実現する具体的な方法を考えてみました。まず大切にしたいのは、作る過程を共有すること(来年2月に実施予定)。具体的なベンチの機能としては、「机」があった、「向いあって」すわったり、「寝そべったり」できること、くわえて「かまど」としての機能を充実させること(ベンチ兼用では高さ不足)。「冬は暖かく(日向に設置)」、「夏は涼しい(日陰に設置)」などの条件も提案されました。

■表彰台型ベンチを使いこなしながら増築!

盛りだくさんの機能や条件を実現するためのキーワードは、座って+寝そべって+向いあって+かまど+机です。これを「表彰台」型のベンチで実現。5つの機能を実現するために長さは6m以上に。設置位置は、「夏は涼しく」、「道から目立つ」を重視し日陰になる建物沿いにしました。「品格」と「かわい」も同居できることを目標に、完成後も使いこなしながら増築することで意見がまとまりました。



■プログラム班での話し合い

「色んな世代、いろんな人が楽しい」がコンセプト！
大事にしたいのは、「家族・親子」など「あらゆる世代」の「誰もが自由」に参加でき、参加者の「協力」と「交流」のもと、「好きなコトや特技などをシェア」しながら、「笑顔のたえない」イベントを「参加者全員でつくりあげる」ことが挙げられました。

色んなチームのプログラム案が20以上!

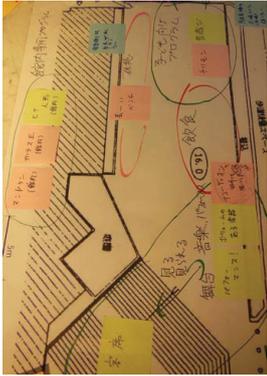
出されたプログラム案は20以上で、6つのテーマに分けられます。歴史では、「クイズ」、「紙しばい」、「まが玉」、「ガラス玉」、「時代衣装体験」。自然では、「森の散策」、「ドングリや葉っぱで工作」、「野鳥観察」、「チリモン」。地域の暮らしでは「特産物収穫祭」、「泉州名物の料理教室」、「泉州本郷から糸つむぎ」、「方言」、「見どころツアー」。遊びでは「こま」、「からくりおもちゃ」。季節に応じて楽しめるものでは「桜まつり」、「ひな人形」。パフォーマンズでは「コンサート」、「ダンス」、「祭りばやし」。その他「スタンブラリー」、「イルミネーション」、「写真撮影会」、「雅楽」なども。



■次回のご案内-ワークショップ

■次回は来年の1/23です

テーマ「実行するアイデアを決める(仮)」
皆さんの意見をまとめた案をもとに、ベンチのデザインと、プログラム案の身を、じっくり話し合いながら、決定します。
日時：平成26年1月23日(木) 午後7時～午後9時
場所：泉南市埋蔵文化財センター
問合せ：泉南市埋蔵文化財センター
(担当：城野・河田)



いろんな団体、個人といっしょにできそう!

呼んでみたいプログラム団体では「案内人の会」、「里山と自然を守る会」、「小中学校「吹奏楽部」といった地元をフィールドに活躍されている様々な団体をはじめ、「きわだ自然資料館」や「小谷城郷土資料館」、「弥生学習館」といった博物館。また、知る人ぞ知る一芸に秀でた個人の方のお名前もでした。

埋蔵センターと海会寺跡広場をいっしょに使おう!
プログラムを①館内専用、②舞台、音楽、③飲食系、④子ども向け、⑤海会寺跡広場に分けて考えてみました。①ではマンダリン演奏やヒナ人形の展示などを、②はマイブンの大階段を客席に、③は「長いベンチ」と対面しベアになるよう、④普段は職員駐車場となっているエリアを子ども向けスペースとして開放し、「チリモン」や「昔遊び」などを、⑤では広い海会寺跡広場一帯を用いたプログラムを行うこととしました。

■ごあんない

交野市では、森のクリスマスパーティー!
「かたのカンヴァス」を見に行きませんか?
同じ取り組みが、交野市でも行われています。ピザの展示や、アーティストのパフォーマンスなど。
日時：12月21日(土) 午前10時～午後7時
場所：大阪交野線「私市」下車、徒歩約6分
(泉南交野線「私市」下車、徒歩約6分)
問合せ・行ってみたい方は：483-6789(河田)まで

ワークショップに参加してみたい方、大歓迎です!
せんなんカンヴァスについての問合せ、ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで

TEL:072-483-6789 メールアドレス: maibun@city.semnan.lg.jp

泉南のレトロなレンガで作るかまどベンチ

第3回 ワークショップ

03 かまどとプログラムを決める

日時：平成26年1月23日（木）
午後7時～午後9時
場所：泉南市理蔵文化財センター
参加人数：19名



■スケジュール

- 19:00 あいさつ
- 19:05 ふりかえり
- 19:15 参加者のチーム選択
- 19:15 1/9に話し合ったプログラム内容の共有
- 19:35 ワークショップ「かまど班」のテーマ

- ・かまどのデザインを確定
- ・料理と食材を考える

- ・プログラム班のテーマ
- ・各ゾーンのコーディネート募集
- ・チラシづくり
- ・キャッチコピーづくり

20:35 発表
21:00 終了

■1/9にプログラム案を検討しました 前回のワークショップ（12/12）のあと、プログラム内容の検討会を実施（参加者11名）。この日つくられたプログラム案をもとに、今日のワークショップを行いました。

■この日のながれ 2/9のかまど作りと、3/15の完成イベントを目指して話し合い。まず、各自の意志で、「かまど班」と「プログラム班」にわかれしました。「かまど班」ではデザイン決定と3/15の完成イベントでのメニュー検討を、「プログラム班」では3/15の完成イベントのプログラムについて話し合いました。

■かまど班での話し合い

ふたつのベンチ案

前回ワークショップでかためた原案（座面と机が離れている）と、ブラッシュアップ案（右下図）の2案を比較し、話し合いました。それぞれのメリット、デメリットを自由に意見交換。ベンチやカマドとしての機能を重視するものも大切だが、「利用者にとって安全なデザイン」を優先することで意見が一致。

子どもが安全なベンチ

どんなベンチなら安全なのかを話し合うなかで、やはり「子どもが遊んでいてもケガをしにくいベンチ」を軸にデザインの細部を検討することになりました。とはいっても、想像もしない遊びを考えながら子どもたちも、座面を走って飛び越したりしないか、座面と机を飛び石みたいには遊ばないか、壁面を足で蹴ったりボールあてなどしないかなど、皆さん子

■座面（単位）



かまどベンチのデザインはこの案に決定

■プログラム班での話し合い

何を担当しようかな？

本日の目標はチラシの作成。まずは各ゾーンの中心を担当いただくコーディネーターを選ぶところからはじめました。責任重大なトコロだけにそう簡単には決まりません。まずは自分がやってみよう！参加してみたい！と思うゾーンを選ぶことから考えてみます。「コマ」のコレクションを持っているから昔あそびのゾーンに」のように、自分なりの楽しみ方を見出していきたいだけです。

メインターゲットは親子連れ

コアとなるターゲット層を絞ってみました。各プログラム案を吟味した結果、「親子連れ」をメインターゲットに、とりわけ「小学校低学年までの子どもたち」の笑顔や歓声が包まれた場にしたいとの意見で一致しました。

イベントタイトル決定！

次に一番大切なイベントタイトル！「春」、「歌生」、「遊ぶ」、「森」等々、実に様々なキーワードを考えていただき、最終的には『春だ！祭りだ！全員集合！』というイメージに決定しました。サブタイトルは少し時間をかけて検討することに。

ゾーンの名前と目玉プログラム

ゾーンそれぞれの①名前と、②目玉プログラムについて考えました。たくさんのアイデアが飛び出しましたが、最終的に次のように決定。Aゾーン①「むかしむかしヘタタイムスリッパ」、②古代衣装の体験、



Bゾーン：①「音舞台」、②なつかしの歌謡喫茶（アコーディオン+歌唱）、Cゾーン：①「せんなんのごちそうさん」、②これからのお楽しみり（かまど班のみなさん、期待していますよ〜）、Dゾーン：①「遊戯」遺跡の森、②ネイチャーグループ

ゴールまで笑顔で！

今後はこれをもとにチラシづくりやプログラム内容の検討、プログラムの実践へと移っていきます。今回は2/9のかまどベンチ作りの日が集まることを確認して、本日のワークショップは終了です。どうもお疲れさまでした！プログラム班のみなさん、ゴールまで笑顔でがんばりましょうねー！

■かまど作りのごあんない

2/9はまいぶんでかまどベンチ作り

皆さんの意見をカタチにした、かまどベンチをつくります。途中、あったかスーパとホカホカ「まきまきパン」の試食もあり。ワークショップ参加者の皆さまの「ちよこっつと見にくるだけ」も大歓迎です。日程：平成26年2月9日（日）午前10時～午後4時 場所：泉南市理蔵文化財センター 参加：見学の問合せ：072-483-6789（担当：河田）

この取り組みに参加してみたい方は大歓迎です！

問合せ・ご意見は、泉南市理蔵文化財センターまで

■今後の予定のごあんない

■打合せ① スーパの試食会 2/3

3/15の完成イベントに用いるスーパの試食会。有志が作った4とおりの「俺のスーパ」を味わえます。日時：2月3日（月）午後7時から1時間程度

■打合せ② プログラムの打合せ 2/9

3/15の完成イベントでのプログラムを話し合います。カマド作りを眺めながら考えてみてください。日時：2月9日（日）午後1時から2時間程度

①②いずれも場所：泉南市理蔵文化財センター 問合せ：072-483-6789（担当：城野・河田）

10. 附編

泉南市埋蔵文化財センター条例

平成9年4月4日
条例第10号

(設置)

第1条発掘調査等で得られた考古学的資料(以下「資料」という。)の保存及び活用を図り、歴史に対する理解を深め、市民文化の向上に資するため泉南市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
泉南市埋蔵文化財センター	泉南市信達大苗代 374-4

(業務)

第3条センターは、次の業務を行う。

- (1) 資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (2) 埋蔵文化財の調査研究及び活用に関すること。
- (3) 資料を展示し、公開すること。
- (4) 資料に関する講演会、講習会及び研究会等に関すること。
- (5) その他泉南市教育委員会(以下「委員会」という。)が設置目的を達成するために必要と認める業務

(入館の制限)

第4条委員会は、入館者が次の各号のいずれかに該当するときは、入館を断り、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 施設又は設備等を毀損し、又は汚損するおそれがあるとき。
- (3) 資料等を汚損し、若しくは損傷し、又は亡失させるおそれがあるとき。
- (4) 前3号に定めるもののほか、管理上支障があるとき。

(損害の賠償)

第5条何人もセンターの施設若しくは設備を毀損し、又は備品若しくは資料等を亡失し、若しくは損傷したときは、これを修理し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(職員)

第6条センターに必要な職員を置く。

(委任)

第7条この条例に定めるもののほか、センターの管理運営に関し必要な事項は、委員会規則で定める。

附則

この条例は、平成9年4月27日から施行する。

泉南市埋蔵文化財センター条例施行規則

平成9年4月4日
教育委員会規則第1号

(趣旨)

第1条この規則は、泉南市埋蔵文化財センター条例(平成9年泉南市条例第10号。以下「条例」という。)第7条の規定に基づき、泉南市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)の管理運営について必要な事項を定めるものとする。

(開館時間及び休館日)

第2条センターの開館時間は、午前9時30分から午後4時30分までとする。

2センターの休館日は、次のとおりとする。

- (1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
- (2) 毎週土曜日及び日曜日
- (3) 12月28日から翌年1月5日までの日

3前2号の規定にかかわらず、泉南市教育委員会(以下「委員会」という。)が必要と認めるときは、開館時間及び休館日を変更し、又は臨時に休館することができる。

(資料の貸出し)

第3条条例第1条に規定する資料(以下「資料」という。)は、教育的目的又は学術研究に使用する場合に限り、館外に貸出しをすることができる。

2資料の貸出しを受けようとする者は、資料貸出申請書(様式第1号)を委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

3委員会は、前項の規定により許可したときは、資料貸出許可書(様式第2号)を交付する。

(行為の禁止)

第4条センターでは、次の行為をしてはならない。

- (1) 所定の場所以外で喫煙し、又は火気を使用する行為
- (2) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為
- (3) 所定の場所以外に無断で立ち入る行為
- (4) その他管理上支障をきたす行為

(委任)

第5条この規則に定めるもののほか、必要な事項は、委員会が別に定める。

附則

この規則は、平成9年4月27日から施行する。

附則(平成17年3月2日教委規則第1号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

史跡海会寺跡広場条例

平成7年6月27日
条例第11号

(設置)

第1条史跡海会寺跡を保存するとともに市民にこれと親しむ場を提供し、もって市民の文化的向上に資するため、史跡海会寺跡広場(以下「海会寺跡」という。)を泉南市信達大苗代に設置する。

(施設)

第2条海会寺跡に次に掲げる施設を置く。

- (1) 塔、講堂、回廊、基壇等の復元された歴史的建造物
- (2) 積層面遺構露出保護展示施設
- (3) 広場

(管理)

第3条海会寺跡は、泉南市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が管理する。

(入場の制限)

第4条教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認められる場合は、海会寺跡への入場を制限することができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 施設を損傷し又は汚損するおそれがあるとき。
- (3) 前2号に定めるもののほか、管理上支障があるとき。

(委任)

第5条この条例に定めるもののほか、海会寺跡の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則

この条例は、公布の日から施行する。

史跡海会寺跡広場条例施行規則

平成7年6月27日
教育委員会規則第5号

(趣旨)

第1条この規則は、史跡海会寺跡広場条例(平成7年泉南市条例第11号。以下「条例」という。)第5条の規定に基づき、史跡海会寺跡広場(以下「海会寺跡」という。)の管理運営について必要な事項を定めるものとする。

(入場者の遵守事項)

第2条海会寺跡の入場者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 樹木を伐採し、又は植物を採取してはならない。
- (2) 土地の形質を変更してはならない。
- (3) 鳥獣類を捕獲し、又は殺傷してはならない。
- (4) 車両を乗り入れてはならない。
- (5) 立入禁止区域に立ち入ってはならない。
- (6) はり紙、はり札又は広告を表示してはならない。

(7) 他人の迷惑となる行為をしてはならない。

(損害賠償)

第3条海会寺跡の利用者が施設又は設備を損壊し、汚損し、又は滅失したときは、これを修理し、若しくは原状回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、利用者の責めに帰することができないときは、この限りではない。

(積層面遺構露出保護展示施設)

第4条条例第2条第2号に掲げる積層面遺構露出保護展示施設(以下「展示施設」という。)の利用時間は、午前10時から午後4時までとする。ただし、泉南市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が必要と認めるときはこれによらないことができる。

2 展示施設の閉休日は次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときはこれによらないことができる。

- (1) 12月28日から翌年1月5日までの期間

(委任)

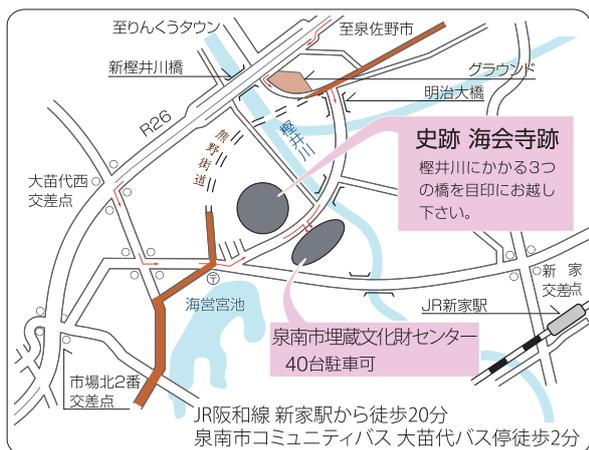
第5条この規則の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附則

この規則は、公布の日から施行する。

資料貸出申請書				
年 月 日				
泉南市教育委員会殿				
申請者 住所(所在地) 氏名(名称) 代表者名(印) Tel.				
下記のとおり、埋蔵文化財センターが管理する資料の貸出を受けたいので申請します				
利用目的				
貸出期間	年 月 日 から 年 月 日まで			
利用場所				
利用方法				
貸出資料	分類番号	品名	数量	備考
輸送方法				
取扱責任者				

資料貸出許可書				
泉南教委生発第号 年 月 日				
殿				
泉南市教育委員会				
年 月 日付けで申請のありましたセンター資料の貸し出しについては、次のとおり許可します。				
利用目的				
貸出期間	年 月 日 から 年 月 日まで			
利用場所				
利用方法				
貸出資料	分類番号	品名	数量	備考
輸送方法				
許可条件				



利用案内

所在地：大阪府泉南市信達大苗代 374-4 史跡海会寺跡広場前

電話：072-483-6789

FAX：072-483-7089

メールアドレス：maibun@city.sennan.lg.jp

ホームページ：http://www.city.sennan.osaka.jp/~maibun/maibunn-top.htm

開館時間：9時30分～16時30分

休館日：土・日曜日・祝日（第2・4土曜日は開館）・年末年始

入館料：無料

泉南市埋蔵文化財センター 年報 平成24年度 2014年4月 編集・発行 泉南市教育委員会